

白川勝利で 四国から 野党連合政権の扉を開こう



白川よう子

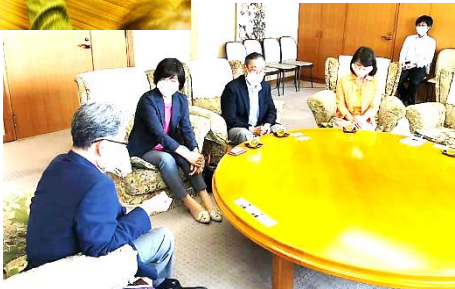


毎月24日、香川の「消費税なくす各界連」の宣伝行動に参加。



26日、奨学生応援金を支給した善通寺市の平岡政典市長と懇談。

25日、徳島市のつどいで「もう歳だから…」と悩んでいた女性が入党を決意！



26日、コロナ対策で子育て応援給付金を創設した丸亀市の梶正治市長と懇談。



28日、高松市香川町の党後援会と支部共催のつどいに、藤沢やよい市議と参加。

6月25日の徳島入りは、県境をまたぐ移動自粛で4カ月ぶり。宣伝や集会にたくさんの方々が集まってくれました。JR徳島駅に到着するや即、街頭宣伝。梅雨空の下、久保たかゆき衆院徳島2区予定候補とともにマスク姿で訴えました。「利潤が第一、命は二の次の政治を変えよう」とよびかけると、足をとめて聴いてくれます。

徳島市内のつどいで「コロナ危機をのり越えて新しい社会を一緒に作りましょう」と入党を呼びかけ、最近入党した人たちが自らの「入党体験」を語ってくれました。色んなことが学べる支部会議の楽しさや、社会を変える道筋が見えたことなど思いは様々。共通していることは一人の決意が支部を支え、党活動を変え、社会進歩につながっていることです。呼びかけにこたえて一人の女性が入党を決意してくれました！ソーシャルディスタンスも忘れ、喜びの握手を交わしました。

26日、香川県善通寺市の平岡政典市長、丸亀市の梶正治市長と懇談。善通寺市は県内で初めて学生に「奨学生応援金」を支給、丸亀市は県下トップで「子育て応援給付金」をつくるなど自治体は苦勞しながらコロナ対策で頑張っています。国が先頭に立たずしてどうするか！との思いを強くしました。

毎月24日の「消費税なくす各界連」宣伝行動にも参加。コロナと景気悪化で苦しむ国民の上にズッシリとのしかかる消費税を5%へ！と宣伝・署名行動。あきらめません！

よう子記
